

2019 年度
標準仕様ワーキンググループ活動計画（案）

2019 年 5 月 10 日

標準仕様ワーキンググループ主査

2019 年度 標準仕様ワーキンググループ活動計画

1. 2019 年度の目標と活動方針

(1) 2019 年度の目標

標準推進委員会配下に設置されている当該標準仕様ワーキンググループ(以下、「当 WG」という。)においては、地方公共団体の情報システムの抜本的改革の実現、および地方公共団体内外の様々な情報システムのオープンな連携を実現する基盤となる「地域情報プラットフォーム標準仕様(以下、「地域情報 PF 標準仕様」または「同標準仕様」という。)」を策定してきた。

今年度も法制度改正への迅速な対応を軸とした地域情報 PF 標準仕様の現行化や強化、技術課題の検討と解決策の整理、および同標準仕様への準拠登録や相互接続確認製品等の拡充を通じて、地方公共団体が業務システムを調達する際の合理性や自由度の範囲がより広がることを目標とする。

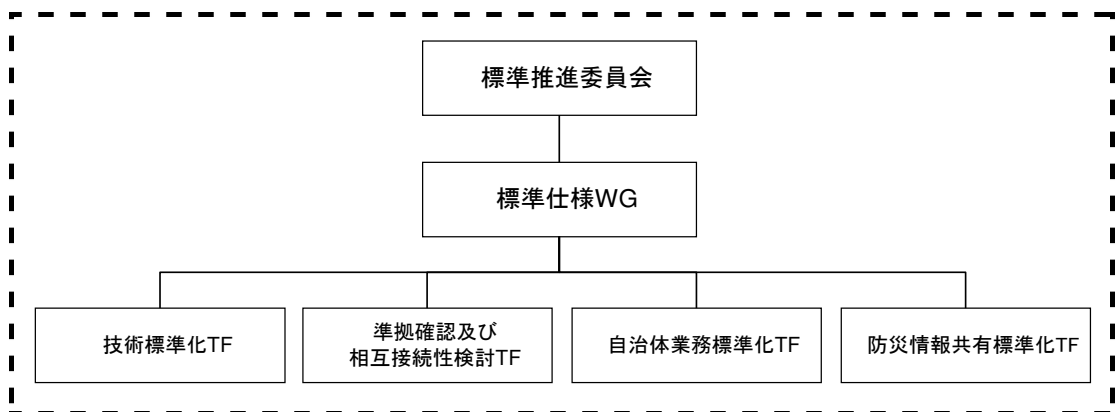
地方公共団体の業務システムへの影響度が大きな法改正を中心に速やかに地域情報PF標準仕様に反映する。また、番号制度においては、国から提示されているデータ標準レイアウトの仕様改定に合わせて、中間サーバーとの連携情報の見直しを継続して推進する。

(2) 2019 年度の活動方針

① 作業部会を中心とした活動

当 WG においては、次の図に示す作業部会(以下、「TF」という。タスクフォースと読む)が年度毎に設定する活動計画に基づき、地域情報 PF 標準仕様※、ガイドライン、基本説明書、および関連する活動成果ドキュメントの強化・現行化に向けて活動する。

当 WG は、各 TF が検討した内容を精査し、横断的に調整が必要な課題については調整・解決したうえで、標準推進委員会に報告・提出する。



※ 「アーキテクチャ標準仕様」「プラットフォーム通信標準仕様」「自治体業務アプリケーションユニット標準仕様」「GIS 共通サービス標準仕様」「防災業務アプリケーションユニット標準仕様」「教育情報アプリケーションユニット標準仕様」「地域情報プラットフォーム準拠確認及び相互接続確認仕様」を指す。

② 他の WG との連携した活動

標準推進委員会配下に別途設置される GIS-WG や教育・校務 WG と連携し、その成果である各仕様案について、技術標準や自治体業務標準、防災情報共有標準、準拠及び相互接続性の観点から地域情報 PF 標準仕様としての整合性等の確認を実施する。

③ 地域情報 PF 標準仕様としての整合性を担保する活動

上記①と②で示した精査・確認を踏まえ、地域情報 PF 標準仕様、ガイドライン、基本説明書および関連する活動成果ドキュメントに対して、標準推進委員会へ提示するための承認を当 WG 内で得た後、最終仕様案として標準推進委員会へ提出する。

④ 国の施策に連動した活動

国の施策と同期をとり、関連する課題や要件について当 WG 配下の TF 等での詳細検討を踏まえ、地域情報 PF 標準仕様に反映されるべき内容が明確化された場合、それら反映作業の全体取りまとめを行う。また、そのプロセスの中で TF 間の横断的な調整が必要な場合は、それらの調整を行う。

2. 2019 年度の取り組みテーマ(予定)とワーキンググループ開催計画

(1) 取り組みテーマ

2018 年度は、当 WG 配下の各 TF において検討した活動の成果として、「**地域情報 PF 標準仕様 APPLIC-0002-2019**」を取りまとめた。今年度は、法制度改正対応や必要とされる技術仕様の強化等の検討を実施し、年度末に「**地域情報 PF 標準仕様 APPLIC-0002-2020**」として全体を取りまとめる計画である。

アーキテクチャ標準仕様及びプラットフォーム通信標準仕様に関しては、現行の地域情報 PF 標準仕様で採用している技術や規格の現行化に加え、Web アプリケーション開発に採用されている言語や開発環境、セキュリティなどの技術や規格も対象に情報収集することで、オープンデータ活用やクラウドサービス利用の促進を意識した標準仕様の強化を進める。

自治体業務アプリケーションユニット標準仕様に関しては、地方税制の改正等、各種法制度の改正について必要に応じた対応を行う。情報提供ネットワークシステムやマイナポータルとの情報連携、官民データ活用対応などについて必要に応じて標準仕様の強化を進める。

防災情報共有標準仕様に関しては、内閣府や消防庁等の関係機関で検討されている防災関連制度の改革に関する協議の動向や、防災分野の ICT 活用動向を注視しつつ、必要に応じて防災情報共有ユニットの標準仕様の強化を進める。また、SIP4D(基盤的防災情報流通ネットワーク)との関係性の整理を図る。

地域情報プラットフォーム準拠確認及び相互接続確認仕様に関しては、技術や各業務標準仕様の改定に合わせて準拠確認チェックリストの見直しを行うほか、相互接続確認イベントの実施と相互接続テスト仕様の強化を継続して進める。また、クラウドサービスに関する「サービス基準準拠登録」の検討を行う。

(2) 標準仕様 WG 開催計画

開催回	開催日	議題案/ 開催概要案
第 1 回	5 月 10 日 (金曜日)	① 標準仕様 WG および同 WG 配下に設置される各 TF の活動計画について審議する。 ② 必要に応じて、他の委員会や WG の活動方針の共有をする。
第 2 回	9 月下旬	① 2019 年度前半の各 TF の活動状況を報告する。 ② 2019 年度下期の活動計画を報告する。 ③ 標準推進委員会への報告内容について審議する。
第 3 回	12 月中旬	① 2019 年度の地域情報 PF 標準仕様および関連する成果物のドキュメントの修正範囲(スコープ)と、修正方針(ターゲット)について、報告・協議する。
第 4 回	2 月下旬	① 2019 年度の地域情報 PF 標準仕様および関連する成果物のドキュメントの内容について、報告・協議を実施し、標準推進委員会へ報告内容について審議する。

3. 成果物(予定)

- 地域情報プラットフォーム標準仕様 APPLIC-0002-2020 として全体をとりまとめる。

以上

2019年度 技術標準化タスクフォース活動計画(案)

1 活動テーマと作業項目

標準推進委員会の活動は、地域情報プラットフォーム標準仕様の強化、現行化を行うことで、地方公共団体(以下「自治体」という。)が業務システムを調達する際の合理性や自由度の範囲がより広がることを目標としている。

技術標準化タスクフォース(以下「当 TF」という。)では、各業務アプリケーションユニットで採用されるデータ交換方式やデータ形式をはじめとする各種規約の標準化を推進する。また、自治体の ICT 活用による業務効率化や住民サービスの向上に向けた取り組みにおいて標準化すべき技術項目の検討・標準化を行う。

(1) 標準仕様の強化、現行化対応

当 TF が管理するプラットフォーム通信標準仕様とアーキテクチャ標準仕様の強化、現行化に対応するため、以下の三点について動向を注視し、技術要件の把握や検討を行う。

① 現行の地域情報プラットフォーム標準仕様として採用している技術や規格

地域情報プラットフォーム標準仕様の準拠認定や相互接続仕様として明記されている規格に関して最新化の動向を確認し、現行化の対応を行う。

主に、業務アプリケーションユニット間のデータ連携に必要な技術要件が対象となる。

② 国が推進する全国共通システムや標準システムとの情報連携で指定されている技術や規格

マイナポータルでの提供サービス(子育てワンストップサービスなど)や情報提供ネットワークシステムとの情報連携の仕様において指定されている技術や規格に関して、国やシステム運用元からの情報に注視し必要な対応を行う。

③ Web アプリケーションを開発する際に採用されている技術や規格

業務アプリケーション開発において採用されている言語や開発環境、セキュリティなどの技術や規格に関して幅広く情報収集を行い、自治体の業務システムの開発や運用保守に有効なものについては必要な対応を行う。

主に、パブリッククラウドで提供されているサービスを使用する際に必要な技術要件が対象となる。

(2) その他

① 質問(QA)やチェンジリクエスト(CR)への対応

アーキテクチャ標準仕様、プラットフォーム通信標準仕様、ガイドラインを対象として QA や CR の対応を行う。SOAP 等の一般的な仕様に関する QA は受け付けない。

② 地方公共団体からの意見や要望への対応

地域情報プラットフォーム標準仕様を活用したシステム構築に取り組んでいる自治体からの意見や番号制度をはじめとする国の情報通信施策の動向を踏まえ、必要に応じて、アーキテクチャ標準仕様、プラットフォーム通信標準仕様およびガイドラインの強化を行う。

③ 他の TF や WG との連携対応

自治体業務標準化 TF、準拠確認及び相互接続性検討 TF、防災情報共有標準化 TF、GIS-WG、教育・校務 WG で検討されている各仕様案を、地域情報プラットフォーム標準仕様体系に組み込む際に、技術標準の観点から整合性の確認を行う。

2. スケジュール(案)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
標準推進委員会							△第一回					△第二回
標準仕様WG		△第一回 活動方針				△第二回 中間報告、議案審議		△第三回 標準仕様保守方針の審議、承認 新規議案の審議承認				△第四回 年度成果の最終審議、承認
技術標準化TF		△第一回 活動方針				△第二回		△第三回				△第四回 年度成果の最終審議、承認

開催回	開催日	議題案／開催概要案
第 1 回	5 月 23 日	・活動方針の説明 ・活動テーマ協議
第 2 回	9 月上旬	・活動テーマの検討状況の共有、協議 ・標準仕様 WG での活動報告内容の協議、承認
第 3 回	11 月上旬	・テーマ毎の検討内容の協議 ・今年度の活動成果の集約方針協議
第 4 回	2 月上旬	・今年度成果の審議、承認 ・標準仕様 WG での活動報告内容の協議、承認

3. 成果物(予定)

- ・ アーキテクチャ標準仕様 V3.3
- ・ プラットフォーム通信標準仕様 V3.3

以上

2019 年度 準拠確認及び相互接続性検討 TF 活動計画（案）

1. 検討テーマと作業項目

2019 年度の活動では、自治体業務、防災業務、教育情報の業務アプリケーションユニットに関する仕様、GIS 共通サービス標準仕様、アーキテクチャ標準仕様、プラットフォーム通信標準仕様の改定状況を踏まえて、準拠確認及び相互接続確認仕様の改定・強化を行う。また、ICT 利活用イノベーション委員会での成果等を参考に、クラウドサービスに関する「サービス基準準拠登録」について検討する。

(1) 地域情報プラットフォーム準拠確認仕様の改定及び強化

①標準仕様の改定・強化

- ・標準推進委員会の 2019 年度の標準仕様改定に対応し、地域情報プラットフォーム準拠確認チェックリストを策定する。
- ・2018 年度に作成した準拠確認及び相互接続確認仕様 (V3. 4) について、関連する標準仕様の改定状況を踏まえて見直しを行い、改定版 (V3. 5) としてまとめる。
- ・準拠確認チェックリストの改善（製品情報等の記入欄の必須事項明確化）

②クラウドサービスに関する「サービス基準準拠登録」の検討

- ・ICT 利活用イノベーション委員会での成果等を参考に、「製品準拠登録」と「サービス基準準拠登録」の違いの分析や、関連する運用の事例調査など実施し、実現性や課題の分析を実施する。関連の WG や TF からの「サービス基準準拠登録」の要望や検討状況を確認して、今後の整備計画として進める。

(2) 地域情報プラットフォーム相互接続確認仕様の改定及び強化

①標準仕様の改定・強化

- ・相互接続テスト仕様の強化に関して、未定義の相互接続テストモデル (L2 テスト) について検討を実施する (APPLIC-0002-2019 改定の GIS-防災・業務システム連携対応検討)。

②相互接続確認に関連する書類やツールキットに関する見直し検討

- ・2018 年度実施の相互接続確認イベント第 15 期で参加メンバから課題として挙げられた、テスト方法やサンプルデータ整備方針等の検討を行う。

(3) 地域情報プラットフォーム標準仕様準拠登録製品の相互接続確認イベントの実施

- ① APPLIC 事務局と連携し、地域情報プラットフォーム標準仕様 (APPLIC-0002-2019) に準拠した複数事業者製品間の相互接続性を確認する「相互接続確認イベント」を実施する。
- ② 2019 年度については、下期 (1 回) の実施を予定する。(開催に関しては、APPLIC 事務局から上期にアンケートを実施し、2019 年度の開催計画を立案する。)
- ③ 初参加の団体を対象に事前オリエンテーションのための説明会を開催する。

(4) 地域情報プラットフォーム準拠登録、Q&A の APPLIC 事務局活動支援

- ・ APPLIC 事務局を中心に実施している、地域情報プラットフォーム標準仕様への準拠登録製品拡充活動や、Q&A 対応活動に対して支援等を行う。

2. スケジュール（予定）

	主担当	2019年										2020年					
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
標準推進委員会									△ 第1回						△ 第2回		
標準仕様WG	WG		△ 第1回						△ 第2回		△ 第3回				△ 第4回		
準拠確認及び相互接続性検討TF: 開催スケジュール	TF	★ TF募集	△ 第1回		△ 第2回			△ 第3回		△ 第4回					△ 第5回		
準拠確認及び相互接続性検討TF: 準拠確認仕様に関する検討 相互接続確認仕様に関する検討	TF	TFリーダーによる 課題テーマ設定										課題検討			仕様改定の検討		
準拠確認及び相互接続性検討TF: 相互接続確認イベント	事務局 & TFリーダー			アンケート								★ 募集	★ 会議	★ 会議	★ 本番		
準拠確認及び相互接続性検討TF: 準拠確認及び相互接続確認仕様成果まとめ	TFリーダー																

3. 成果物（予定）

(a) 地域情報プラットフォーム準拠確認仕様の改定版

「地域情報プラットフォーム準拠確認および相互接続確認仕様 V3.5」

(b) APPLIC-0002-2019 標準仕様の準拠登録製品間での相互接続確認イベントの実施

以上

2019年度 自治体業務標準化 TF 活動計画（案）

1. 検討テーマと作業項目

(1) 法改正対応

地方税制の改正等、各種の法制度の改正について、必要に応じ標準仕様の見直しを行う。

番号制度については、情報提供ネットワークシステムやマイナポータルとの情報連携などについて、必要に応じて標準仕様の見直しを検討する。

また、国等で検討されている制度改革について、国等の協議の動向を注視しつつ、必要に応じて標準仕様の見直しを検討する。官民データ活用についても、引き続き、必要に応じて標準仕様の見直しを検討する。

(2) その他

・他組織との連携

他の組織（ワーキンググループ、タスクフォース等）が策定する標準仕様で定義される業務ユニットとの情報連携について、他の組織と連携して協議を行い、必要に応じて自治体業務アプリケーションユニット標準仕様の見直しを検討する。

また、他の組織の協議を受けて、自治体業務標準化 TF として検討すべき課題について、必要に応じて協議を行う。

・Q&A・CR（チェンジリクエスト）対応

標準仕様を実際に適用している自治体・ベンダ、および「相互接続確認イベント」の結果として出されたQ&AやCR（チェンジリクエスト）について、回答を行う。

また、標準仕様へのフィードバックの必要性を検討・判断し、必要に応じて標準仕様の見直しを検討する。

また、上記の作業項目の結果を踏まえて、必要に応じて、「地域情報プラットフォーム基本説明書」「ガイドライン」の改版を検討する。

2. 検討方法

(1) タスクフォースの運営

タスクフォースの設置・運営にあたっては、下記の通りとする。

- ・ 構成員は、標準仕様ワーキンググループメンバーより公募する。
- ・ TF には、複数の自治体に参加頂くことが望ましいと考える。
- ・ TF の開催頻度と回数は、検討内容とその規模に応じて、リーダーによって適宜設定する。
- ・ TF の活動報告・検討結果等は、標準仕様 WG へ報告、必要に応じて議案とする。

(2) 作業の進め方

標準仕様の策定および見直しは、メンバーで作業を分担して実施する。

法改正対応については、業務ユニット毎に担当者を設け、担当者が現行の標準仕様への影響について調査・検討し、改定案の素案を作成した後、メンバー全員で改定案の確認・レビューを行うものとする。昨年度実施した TF メンバ以外への意見収集も実施する予定。

また、QA・CR 対応については、前述の業務ユニット毎の担当者を中心に行うが、標準仕様の内容や方向性を大きく変え得る強化要望項目が出された場合など、協議が必要と判断したものに関しては、TF メンバ全員で協議を行うものとする。

3. 成果物（予定）

- ・ 自治体業務アプリケーションユニット標準仕様 V3.5

4. スケジュール（案）

以下を目途に TF 活動を予定。

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
委員会						▲						▲
標準仕様 WG		▲				▲			▲		▲	
自治体 TF		▲			▲		▲		▲	▲		
仕様改定作業		法改正以外の対応検討						法改正対応（調査・改定）			レビュー	
											TF 外メンバーへの意見照会含む	

以上

2019 年度 防災情報標準仕様タスクフォース活動計画（案）

1. 検討テーマと作業項目

本年度の活動では、防災分野における全国の地方自治体業務の更なる効率化を図るため、公共ネットワーク上で共通利用可能なアプリケーション導入を促進すべく、防災業務アプリケーションユニット標準仕様 防災情報共有ユニット（以下、防災情報共有ユニット）の標準仕様の改定・強化を行う。また、府省庁はじめ民間企業等からの災害情報を集約し、都道府県・市町村の防災情報システムへもシステム連携による情報共有を目指している SIP4D（基盤的防災情報流通ネットワーク）との関係性の整理を図る。

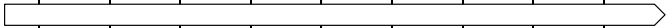
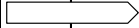
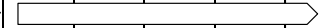
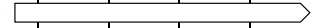
（1）法改正等に対応した防災情報共有ユニット標準仕様の改定

- ・ 内閣府や消防庁等、国等で検討されている防災関連制度の改正／改革に関する協議の動向や、防災分野の ICT 活用動向を注視しつつ、必要に応じて防災情報共有ユニットの標準仕様の見直しを検討する。
- ・ APPLIC 事務局を中心に実施している地域情報プラットフォーム標準仕様への Q&A・CR（チェンジリクエスト）対応活動に対して必要に応じて支援等を行う。
- ・ APPLIC 内の他の組織（ワーキンググループ、タスクフォース等）の検討内容・成果等を踏まえ、必要に応じて連携し協議を行い、防災情報共有ユニットの見直し検討や普及活動支援等を行う。

（2）SIP4D（基盤的防災情報流通ネットワーク）との関係性整理、TF 活動の見直し検討

- ・ SIP（内閣府を司令塔とし、科学技術イノベーション実現のために創設された国家プロジェクト）にて取組んでいる「SIP4D（基盤的防災情報流通ネットワーク）」を中心に、府省庁はじめ民間企業等からの災害情報を集約し、都道府県・市町村の防災情報システムへもシステム連携による情報共有を目指していることから、SIP4D と防災情報共有ユニットとの関係性を整理し、TF 活動の見直しを図る。

2. スケジュール（予定）

	主担当	2019年										2020年			
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
標準推進委員会									△ 第1回						△ 第2回
標準仕様WG	WG		△ 第1回						△ 第2回			△ 第3回			△ 第4回
防災情報標準仕様TF (集合 or メール開催)	TF	★ TF募集	△ 第1回						△ 第2回						△ 第3回
法改正等に対応した防災情報 共有ユニット標準仕様の改定	TF		 防災関連動向確認 / 標準仕様見直し検討 / 標準仕様変更 (随時)												
基盤的防災情報流通ネットワー ク(SIP4D)との関係性整理	TF	 SIP4D方針確認		 SIP4Dとの関係性整理					 TF活動の見直し検討						

3. 成果物（予定）

- ・ 防災業務アプリケーション標準仕様 防災情報共有ユニット
(改定の必要性が生じた場合)

以上